京都学ラウンジ パネル展「古写真で見る洛北の暮らし ～上高野・修学院・山端～」展示解説（開催報告）

平成３１年１月４日
京都学・歴彩館
０７５－７２３－４８３５

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、京都学ラウンジにおいてパネル展示を実施しています。この度、修学院学区郷土誌研究会のご協力を得て、上高野およびその周辺地域の古写真を紹介する展示を行い、展示解説を開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日　　時　　平成３０年１１月１５日（木）、１２月７日（金）、１２月２０日（木）
■ 会　　場　　京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ
■ 参加者数　　１１月１５日（３２名）、１２月７日（４０名）、１２月２０日（１９名）
計９１名
■ 内　　容
展示会期　１期　叡電沿線の風景　１１/１（木）～１１/１９（月）
展示解説　１１/１５（木）　１４：１０～１５：１０
２期　アジア太平洋戦争下の洛北　１１/２０（火）～１２/１１（火）
展示解説　１２/７（金）　１５：１０～１６：１０
３期　暮らし・子ども　１２/１７（月）～１/８（火）
展示解説　１２/２０（木）　１４：１０～１５：３０

■ 展示解説の様子

「古写真で見る洛北の暮らし～上高野・修学院・山端～」展で、修学院学区郷土誌研究会および中村治先生（大阪府立大学教授）の協力を得て、３回の展示解説を行った。各展示解説では、冒頭、展示している古写真を概観し修学院学区郷土誌研究会の活動を紹介した後、講師と参加者たちが自由に古写真を見ながら地域の歴史や生活に関する情報交換を行った。終始和やかな雰囲気で進み、１時間程度で自然に終了した。

講師が一方向的に解説を行うのではなく、講師と参加者それぞれが保有する子ども時代や若い頃の記憶を提供しすり合わせた結果、古写真に映されていた建物の位置が改めて明らかになるケースもあった。「歴彩館でこんな良い展示をしているとは知らなかった」という声も多く、地域における歴彩館の存在を改めてアピールする良い機会にもなった。